



マシン紹介 レッグエクステンション



強化される筋肉

- ・ 上げる：大腿四頭筋、特に内側広筋
- ・ 下げる：下肢後面を作る筋肉

期待される効果

- ・ 階段の昇り降りがスムーズになる
- ・ 膝を伸ばす力が付き歩幅を

広げることが出来る為
歩行が安定する

10月のイベント

カラオケ大会、開催いたしました。たくさんの利用者様が歌ってください、大変盛り上がりました。



インフルエンザ予防接種 予約受付中!

費用1500円(平成31年1月31日まで)
高齢者の方は当デイケア利用時に接種できます。



デイケアに興味・質問ある方はお気軽にご連絡ください。お待ちしております。
丸山整形外科デイケア・アクア 電話 073-423-7700 担当:前田

骨粗しょう症のお薬について

骨粗しょう症の薬は大きく2つに分類されます。

- (1) 骨の吸収を抑制する薬
- (2) 骨の形成を促進する薬

丸山整形外科での骨粗しょう症で用いられる薬

①エディロールカプセル (ビタミンD3製剤)

食事で摂取したカルシウムの吸収を促す働きがあります。また、骨の形成と吸収のバランスも調整します。

②ボンビバ注射、ボンビバ錠、ボノテオ錠

過剰な骨の吸収を抑えることで、骨の強度を増やす作用があります。飲み薬と注射があります。1カ月に1回と1週間に1回の服用の仕方があります。注射は1カ月に1回当院で注射をします。

③ラロキシフェン錠

骨量の低下を改善し、骨折の危険性を減らします。閉経後の女性に使用されます。

④エルシトニン注射

骨の吸収を抑制する注射薬ですが、鎮痛作用もあります。骨粗しょう症に伴う背中や腰の痛みに対して用いられます。週1回当院で注射をします。

⑤テリボン注射

新しい骨をつくる細胞を活性化させ、骨の強度を高めます。骨密度が、非常に低いなど骨折リスクが高い患者さんに適した薬です。週1回当院で注射をします。

☆骨粗しょう症治療は根気よく☆

骨粗しょう症と診断され、せっかく薬物療法をはじめても、1年後には、患者さんの約5割が処方通りの服薬が出来ていないという報告があります。多くの場合、骨粗しょう症の薬物治療は、1~2年といった息の長い治療で効果が表れます。痛みが消えた、なかなか骨密度が上がらないからと、自己判断で薬を中断しないようにしましょう。